

令和6年度事業報告

I. 会 員 数

項 目	会 員 数
令和6年3月31日	249(正会員 231 賛助会員 18)
令和6年度入会会員	7(正会員 5 賛助会員 2)
令和6年度退会会員	8(正会員 8 賛助会員 0)
令和7年3月31日	248(正会員 228 賛助会員 20)

II. 会議の開催

1. 総 会

令和6年度定時総会を、令和6年6月11日(火) A P新橋で開催しました。

(1) 議事

以下の議案が承認されました。

第1号議案 令和5年度事業報告、財務諸表及び財産目録承認の件

第2号議案 役員改選の件

(2) 報告事項

以下の事項が報告されました。

1) 令和6年度事業計画及び収支予算の件

2) 規程等改訂の件

3) 顧問就任の件

2. 理 事 会

(1) 第1回理事会を、令和6年5月14日(火) A P新橋で開催し、以下の議案が承認されました。

第1号議案 令和5年度事業報告、財務諸表及び財産目録承認の件

第2号議案 入会承認の件

第3号議案 役員改選に伴う役員候補承認の件

第4号議案 専門委員会委員承認の件

第5号議案 令和6年度定時総会招集の件

(2) 第2回理事会を、令和7年3月11日(火)にA P新橋で開催し、以下の議案が承認されました。

第1号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件

第2号議案 入会承認の件

- (3) 臨時理事会を、令和6年6月11日(火) A P新橋で開催し、以下の議案が承認されました。

第1号議案 会長、副会長、専務理事選定の件

3. 技術研究委員会・技術普及委員会

(1) 資格試験・研修推進部会

部会を令和7年3月12日(水)にA P新橋にて開催し、以下の議題が了承されました。

- 1) 令和6年度資格試験の実施結果について
- 2) 令和6年度研修会の実施結果について
- 3) 令和7年度資格試験の実施について
- 4) 令和7年度研修会の実施について
- 5) 令和7年度資格試験のための講習会の開催計画について(各ブロック主催)

(2) 測量部会・調査設計部会

合同部会を3回開催するとともに、12月3日に講演会を実施しました。

(3) 用地補償部会

部会を1回開催いたしました。

4. 農業土木技術管理士運営委員会

農業土木技術管理士運営委員会を3回開催するとともに、同試験委員会を7回、研修委員会を2回開催しました。

5. 土地改良補償業務管理者等運営委員会

土地改良補償業務管理者等運営委員会を3回開催するとともに、同試験委員会を3回開催しました。

6. 土地改良補償士運営委員会

土地改良補償士運営委員会を3回開催するとともに、同試験委員会を3回開催しました。

7. 農業農村地理情報システム技士運営委員会

農業農村地理情報システム技士運営委員会を2回、同講習委員会及び試験委員会を4回、合同委員会を1回開催しました。

8. 農業用ため池管理保全技士運営委員会

農業用ため池管理 保全技士運営委員会を3回、同試験委員会を5回開催しました。

Ⅲ. 事業の実施

1. 技術の調査・研究及び普及事業

(1) 技術研究委員会（委員長：本口晴年理事）

測量部会・調査設計部会の合同部会において、「測量・設計分野における三次元データの活用」について、情報収集・調査検討を行い、その成果のとりまとめ及び講習会を実施しました。

また、調査設計部会において、調査研究のテーマを定め、情報収集・調査検討を行い、その成果を機関誌「土地改良の測量と設計」99号、100号において公表しました。

◇3次元データの農業農村整備への活用における留意点について(調査設計部会)

◇異なる音響測深機による農業用ため池の土砂堆積量の比較検討(調査設計部会)

◇農家視点で開発した田んぼダム器「Tダム管、Tダム板」(調査設計部会)

◇農業用ため池を巡る状況(調査設計部会)

◇農業農村整備事業における三次元データの活用について(調査設計部会)

◇北陸農政局における権利保全対策の取り組みについて(調査設計部会)

さらに、地方会員による技術研究を推進するため、地方ブロックにおける研修会等の活動を支援するとともに、その一部を委託しました。

(2) 技術普及委員会（委員長：本口晴年理事 副委員長：松本義政理事）

広報・機関誌部会において、技術研究委員会の研究成果をホームページや機関誌「土地改良の測量と設計」の99号および100号に公表するとともに、メールマガジン「土測協通信」327号～347号を発信しました。

また、資格試験・研修推進部会において、協会の技術資格試験及び研修事業の普及と広報のためのポスターを4種類合計2,800部作成し、会員、関係機関等に配布しました。

機関誌99号及び100号の配布先、配布部数は以下の通りです。

〈配布先〉	〈99号〉	〈100号〉
会 員	255部	255部
農 林 水 産 省 関 係 機 関	260部	259部
都 道 府 県 関 係 機 関	535部	535部
独立行政法人水資源機構等	22部	22部
関 係 団 体 等	28部	27部
そ の 他	21部	21部
計	1,121部	1,119部

2. 技術資格認定事業

(1) 農業土木技術管理士

①試験月日 令和6年9月14日(土) 10:00～16:00

②試験会場 札幌、仙台、東京、名古屋、岡山、福岡、鹿児島、那覇の8会場

③受験資格 農業農村整備事業に関する調査、計画、設計、積算、施工、施工管理、
施設管理等の技術的な実務経験が7年以上の者

④受験申込 令和6年6月3日(月)～6月28日(金)(ホームページ)

⑤会場別申込・受験・合格者数

会 場	申込者数	受験者総数	合 格 者 数	備 考
札 幌	34	27	16	
仙 台	70	54	22	
東 京	58	50	29	
名古屋	50	44	38	
岡 山	54	48	24	
福 岡	56	46	32	
鹿児島	66	59	25	
那 覇	23	18	6	
合 計	411	346	192	合格率 55.5%
令和5年度	291	248	103	合格率 41.5%
対前年比	141.2%	139.5%	186.4%	

(2) 土地改良補償業務管理者・同補

①試験月日 令和6年9月14日(土) 13:00～15:30

②試験会場 札幌、仙台、東京、名古屋、岡山、福岡、鹿児島、那覇の8会場

③受験資格 管理者：土地改良事業の用地補償等業務に7年以上従事した者
管理者補：土地改良事業の用地補償等業務に3年以上従事した者

④受験申込 令和6年6月3日(月)～6月28日(金)(ホームページ)

⑤会場別申込・受験・合格者数

会 場	申込者数	受験者数	合格者数	備 考
札 幌	6	5	2	
仙 台	3 9	3 7	1 0	盛岡、福島を統合
東 京	2 6	2 6	1 6	
名古屋	1 1	1 1	5	
岡 山	1 0	1 0	3	
福 岡	2 8	2 8	1 4	
鹿児島	1 2	1 2	4	
那 覇	4	4	1	
合 計	1 3 6	1 3 3	5 5	合格率 41.35%
令和 5 年度	1 7 7	1 7 3	9 5	合格率 54.91%
対前年比	76.83%	76.87%	57.89%	

(3) 土地改良補償士

①試験月日 ○総合用地補償業務講習会

・令和 6 年 9 月 4 日（水） 13:00～17:00

・Web 講習：令和 6 年 1 0 月 1 日から令和 6 年 1 0 月 3 1 日まで

○記述試験

令和 6 年 1 1 月 7 日（木） 10:30～15:00

②試験会場 東京会場

③受験資格 土地改良補償業務管理者の資格試験に合格し、登録後、土地改良事業関係の用地調査等業務に 5 年以上従事した者、若しくは管理技術者、照査技術者又は主任技術者として 3 年以上従事した者、又は国、地方公共団体の職員については、土地改良事業関係の用地補償業務に 15 年以上従事し、かつ、土地改良補償業務管理者の資格試験に合格し登録した者

④受験申込 令和 6 年 6 月 3 日（月）～6 月 28 日（金）（ホームページ）

⑤会場別申込・受験・合格者数 （合格率 36.84%）

会 場	申込者数	受験者数	合格者数
東 京	4 6	3 8	1 4

(4) 農業農村地理情報システム技士

①講習・試験月日

○農業農村地理情報システム技士講習（受験資格要件）

・基礎講習：令和6年9月2日（月）～10月31日（木）

全11講座を受講（eラーニング形式）

・実技講習：令和6年11月13日（水）・11月14日（木）午前

○認定試験 令和6年11月14日（木） 13:30～16:30

②実技講習及び認定試験会場 測量年金会館（新宿区山吹町11-1）

③受講・受験申込 令和6年6月3日（月）～7月31日（水）（ホームページ）

④受講資格 農業農村整備分野に関する調査・計画・設計・施工・積算・施工管理、維持管理等の技術的な実務経験が2年以上の者

⑤受験資格 講習修了者（前年度及び前々年度の講習会修了者を含む）及びこれと同等の能力と経験を有する者

⑥受講申込者・受講者・受験者及び合格者数

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年比	備 考
受講申込者数	24	26	92.3%	
受講者数	24	26	92.3%	
受験者数	24	26	92.3%	
合格者数	20	26	76.9%	合格率83.3%

(5) 農業用ため池管理保全技士

①講習・試験月日

○農業用ため池管理保全技士講習会（受験資格要件）

・基礎講習：令和6年6月17日（月）～30日（日）

全9講座を受講（eラーニング形式）

○認定試験 令和6年7月6日（土） 9:00～12:00

②講習会及び認定試験会場

仙台、東京、京都、岡山及び熊本5都市5会場

③受講・受験申込 令和6年4月17日（水）～5月17日（金）（ホームページ）

④受講資格

a. 実務経験5年以上（農業土木分野又は土木系分野（農業用ため池の管理及び保全に資する分野に限る）の事業に関する調査・計画・設計・施工・積算等の技術的な実務経験が通算5年以上）

b. 次の技術資格保有者

・技術士（農業部門（農業土木、農村環境及び農業農村工学のいずれかに限る）のほか農業用ため池の管理及び保全に資する技術部門・科目に限る）

- ・農業土木技術管理士
- ・RCCM（農業土木に限る）

c. 次の者で技術系（農業土木分野の事業に限る）の職域に所属する期間が通算５年以上

- ・公務員
- ・土地連及び土地改良区の役職員
- ・JABEEプログラム（農業工学関連分野に限る）履修者
- ・技術士補（農業部門に限る）となる資格を有する者

d. 農業用ため池に関する実務経験が通算２年以上

⑤受験資格 講習修了者（前年度及び前々年度の講習会修了者を含む）及びこれと同等の能力と経験を有する者

⑥受講申込者・受講者（受験者）及び合格者数

試験会場	申込者	受験者	合格者	備 考
仙台	25	24	23	
東京	24	24	21	
京都	18	18	18	
岡山	26	26	24	
熊本	60	60	56	
合計	153	152	142	合格率 93.4%
令和５年度	321	313	297	合格率 94.9%
対前年度	47.7%	48.6%	47.8%	

3 技術研修事業

(1) 農業土木技術管理士研修会

①研修日程及び会場

開催地	日 程	会 場	参加者数	備 考
札幌	6月13日	TKPガーデンシティ札幌駅前	45	
盛岡	7月5日	マリオス	61	
仙台	7月4日	宮城自治労会館	44	
東京	7月17日	A P新橋	19	
東京Web	7月17日	A P新橋(オンライン配信)	91	
京都	6月24日	京都テルサ	28	
松江	6月6日	水土里ネット島根	16	
岡山	6月5日	岡山国際交流センター	30	
熊本	5月30日	熊本市国際交流会館	54	
鹿児島	5月28日	かごしま県民交流センター	94	
那覇	5月21日	水土里ネットおきなわ	26	
全 国 計			508	

②研修カリキュラム (標準プログラム)

時 間	プログラム	講師 (予定)
10:00～	受付	
10:45～	オリエンテーション・開会挨拶	
11:00～12:00	第1講義 (資格の活用と技術者倫理)	(公社)土地改良測量設計技術協会の専務理事等
12:00～	昼食	
13:00～14:00	第2講義 (農政・農業農村整備事業の概要編)	農政局・開発局の設計課長または県農林水産部担当課長等
14:00～	休憩	
14:10～15:40	第3講義 (農業農村工学編・基礎編) (※ビデオ撮影を含む)	専門分野の講師による技術的な講義 ・開催地近くの大学等の教授等 ・農村工学研究部門の主任研究員等 ・その他の学識経験者
15:40～	閉会	

(2) 土地改良補償業務研修会

①研修日程及び会場

会 場	開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数	備 考
札 幌	7 月 5 日 (金)	T K Pガーデンシティ札幌駅前 5 階 カンファレンスルーム 5A	13	
青 森	6 月 2 8 日 (金)	青森県観光物産館アスパム 6 階 八甲田	71	
仙 台	6 月 7 日 (金)	T K Pガーデンシティ仙台勾当台 2 階 ホール 1	97	
さいたま	5 月 3 1 日 (金)	大宮ソニック市民ホール 4 階 403, 404	93	
名 古 屋	6 月 2 5 日 (火)	ウイंकあいち 11 階 1102 会議室	53	
徳 島	6 月 1 4 日 (金)	徳島県建設センター 6 階 601 栄	43	
熊 本	6 月 4 日 (火)	熊本城ホール 3 階 中研修室 B2・3	65	
鹿 児 島	6 月 2 1 日 (金)	かごしま県民交流センター 東棟 4 階 大研修室第 4	40	
合 計			475	

②研修カリキュラム

時 間 割	研 修 科 目 等	講 師
10:00～10:15	受付	
10:15～10:30	開会挨拶 オリエンテーション	ブロック担当理事
10:30～12:00	① 用地補償の現状と課題について	農林水産省 担当官
12:00～13:00	昼休み	
13:00～14:20	② 用地管理関係質疑応答について 請負業務要領の一部改正について	(公社) 土地改良測量設計技術協会
14:20～14:30	休憩	
14:30～15:40	③ 土地評価について	(公社) 土地改良測量設計技術協会

(3) 農業農村地理情報システム技士研修会

①研修対象者 農業農村地理情報システム技士有資格者及び一般者
(※資格の登録更新指定研修)

②日 時 令和 6 年 9 月 2 日(月)～ 令和 7 年 3 月 31 日(月)

③研 修 内 容 資格登録更新の要件として、次の農業農村 GIS 講座 (e ラーニング形式) を受講する必要。

- ア. 講座数 5講座
 イ. 受講時間 約360分
 ④受講状況 受講申込 84 名、受講修了者 83 名

(4) 農業用ため池管理保全技士研修会（登録更新の要件）

- ①研修対象者 農業用ため池管理保全技士有資格者及び一般者
 （※資格の登録更新指定研修）
 ②日 時 令和 6 年 10 月 29 日(火)
 ③場 所 岡山市内・ピュアリティまきび（ハイブリッド形式）
 ④研修内容 資格登録更新の要件として、次の講座を設定。
 ア. 講座数 6講座
 イ. 受講時間 約360分
 ⑤受講状況 受講申込者 87 名、受講修了者 86 名

(5) 農業農村 Web カレッジ研修（e ラーニング形式）

- ①研修日程 令和 6 年 4 月 15 日（月）～令和 7 年 3 月 31 日(月)
 ②研修内容 全 148 講座
 ・「改訂 7 版 農業農村工学ハンドブック」を構成している本編および基礎編の主要項目をカテゴリーとし、農業土木技術管理士研修会や農業農村 Web カレッジ公開講座等の講義を動画コンテンツとして制作
 ・農業土木技術管理士の資格登録更新の要件の一つとして、5 年間で 25 講座または農業農村工学会 技術者継続教育機構 CPD125 単位を取得
 ③令和 6 年度 延受講申込者数 621 名
 ④令和 6 年度 延受講申込講座数 5,197 講座

(6) 農業農村 Web カレッジ公開講座

農業農村 Web カレッジ公開講座を次のとおり開催。

区 分	第一回	第二回	備 考
日 程	12 月 3 日（火）	2 月 19 日（水）	第一回、第二回ともにハイブリッド
講 師	4 名	3 名	学識経験者等による技術的な講義
受講者数	193 名	49 名	

4. 受託研究事業

農林水産省の依頼により以下の受託研究業務を行いました。

- (1) 「令和6年度土地取得価格等基準書作成に係る土地評価手法検討業務」を受託し、2回の検討委員会（検討委員5名、内1名は専門家）を行い、土地評価に係る課題の把握・分析及び対応方針の検討後、土地評価手法標準例（案）の提案を行いました。
（用地部）
- (2) 「令和6年度内水面漁業権等調査に係る標準歩掛検証及び漁業補償事例集作成業務」を受託し、各農政局管内で実際に作業した受注者から出来高歩掛及び作業内容の収集等により検証し、現行歩掛との乖離がないことを報告及び漁業補償（内水面）事例集（案）並びに執務参考資料「内水面漁業補償の進め方」の提案を行いました。（用地部）
- (3) 「令和6年度自主調査研究（頭首工技術）に係る資料作成支援業務」を受託して、頭首工に係る技術書の改定に要する資料を整理、編集し、技術書改定案の作成を支援しました。（技術部）
- (4) 「令和6年度実践技術研修（開水路・パイプラインコース）運営業務」を受託して、実践技術研修（開水路・パイプラインコース）におけるオンデマンド配信講義用動画の作成、演習用テキストの作成及び研修講師を行いました。（技術部）

5. 図書刊行事業

技術部において、農業土木技術管理士資格試験の過去の問題を解説することにより受験勉強を通して基礎技術力が備わるように工夫した図書、また、農業用ため池の管理保全に係わる技術者に必要な関係通知等を取りまとめた図書を刊行しました。

関東農業土木技術士会の協力の下、農業土木技術者のための技術士第一次試験の手引き（農業部門）及び第二次試験の手引き（農業部門（農業農村工学））を刊行しました。

- (1) 農業土木技術管理士試験問題の解説 令和6年度版
- (2) 農業用ため池関連図書・手引集 令和6年度版
- (3) 農業土木技術者のための技術士第一次試験受験の手引き令和6年度版
- (4) 農業土木技術者のための技術士第二次試験受験の手引き令和6年度版

IV. その他

1. 災害協定の締結及び運用

- (1) 平成29年度末迄に協会会長は東北農政局長をはじめ全7農政局長と協定を締結して、平成30年度から運用を開始し、令和6年度も継続しました。（令和6年度は支援活動実績なし）
- (2) 補助災に対応するため、令和元年度末に協会会長は農林水産省農村振興局長と協定を締結し、令和2年度から運用を開始し、令和6年度も継続しました。

令和6年7月の豪雨による山形県での災害について、同協定に基づき、東北ブロック会員が支援活動を実施しました。

2. 要請活動

12月2日 要請先 農林水産省農村振興局幹部

要請者 山本副会長、松本副会長、本口副会長、土門理事
木原理事等

内 容 地域コンサルタントの活用

※（一社）農業土木事業協会との合同要請

3月3日 要請先 進藤参議院議員、宮崎参議院議員

農林水産省農村振興局幹部

要請者 小林会長、山本副会長、松本副会長、本口副会長

内 容 予算の安定的確保、本協会資格者の活用及び地域コンサルタントの
活用等